

僕は、学校からもらったお便りに「広島平和式典参加者募集」とあり、原子爆弾で罪もないのに亡くなった多くの人々の事をずっと前から学びたいと思っていたので勇気を出して応募してみました。

思いがけず参加させて頂けることになり、折り紙の鶴を折りながら、待ちどおしく、とても楽しみにしていました。

8月5日、ついに広島へ行く日になりました。広島は思った通り「広島」という感じが出ていて、なぜかなつかしい感じでした。こんな平和な街に、70年前原爆が投下されたなんて想像できませんでした。

おいしい広島焼きを食べてから、原爆ドームを見学に行きました。こんなにボロボロになるほど原爆の力は強いのかと、本当に驚きました。その後、原爆資料館を見に行きましたが、当時の人が焼けこげたイメージの人形や、きのこ雲の写真、人の影だけが残された石、投下された8時15分で止まった時計など、「本当にあった事なのだ。」と、その恐怖に言葉を失うほどの衝撃を受けました。

僕は日本の偉い人達が間違った考え方をしていたために、幸せに暮らす多くの人々が犠牲になった事がかわいそうだと思います。また、「間違っている。」と言葉に出すことも許されなかったと知り、今の時代に生きていることが幸せなことだと感じました。

次の日、平和式典に参加して多くの人々と一緒に平和への誓いを込めて8時15分、もくとうをしました。

今回、原爆や戦争について色々なことを見聞きし学んだことを、忘れたくないと思います。どんな理由があっても、多くの人々の命が一瞬でうばわれる原爆は絶対に、二度と地球で使ってはいけないと思います。小さいことですが身近な人や動物や自然を大切に生きていきたいです。貴重な機会を作ってくれて下さり、本当にありがとうございました。優しく引率してくれて下さり、初めて会う人が多かったけれど、安心して旅ができました。